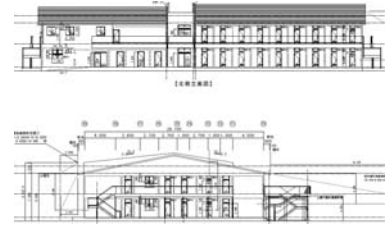




■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	泉区障害者支援施設(仮称)新築工事	階数	地上2F
建設地	神奈川県横浜市泉区上飯田町1987番地	構造	木造
用途地域	第二種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2020年12月17日
敷地面積	3,783 m <sup>2</sup>	作成者	川喜田 俊敬
建築面積	1,335 m <sup>2</sup>	確認日	2020年12月23日
延床面積	2,346 m <sup>2</sup>	確認者	鈴木一誠



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値: 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 ②建築物の取組み: 81% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 ③上記+②以外の: 73% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
 ④上記+: 73% (92 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.5  
 Q2 サービス性能: 2.8  
 Q3 室外環境(敷地内): 1.1  
 LR1 エネルギー: 4.4  
 LR2 資源・マテリアル: 3.2  
 LR3 敷地外環境: 3.3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.2**

#### Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.5)

#### Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 2.8)

#### Q3 室外環境(敷地内) (Q3のスコア= 1.1)

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.4)

#### LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.2)

#### LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.3)

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を使用している。主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。		<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 宿泊部分: 1.25% ≤ [昼光率]。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。宿泊部分: 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。	<b>Q2 サービス性能</b> 個室10m <sup>2</sup> /床。 住居・宿泊部の天井高2.5m以上。 共用部分: 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。 宿泊部分: 0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> Ⅲ1) 外構緑化指数: 36.88%。Ⅰ2) 空地率: 64.71%。Ⅱ-1) 中・高木、ピロティ等の水平投影面積率10.12%。Ⅲ1) 緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積率合計: 27.46%。
<b>LR1 エネルギー</b> [BPI] = 0.65。 [BEI][BEIm] = 0.67。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、省水型機器(節水型便器)を用いている。 LGS使用している。ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して73%。 Ⅰ1) 風環境を把握している。Ⅱ2) ②見付面積比: 24.5%。Ⅱ2) ③隣棟間隔指標 R w 2.73。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい



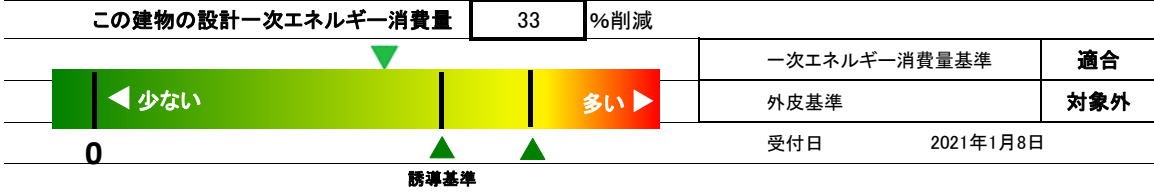
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **泉区障害者支援施設(仮称)新築工事**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①[BPI<sub>m</sub>] = 0.65。

③[BEI][BEI<sub>m</sub>] = 0.67。

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯給水 SSP(C)、排水 VP(B)、給湯 HTVP(B)、Eは不使用。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

— —

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 泉区障害者支援施設(仮称)新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>										<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00			<b>3.0</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40			-
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40			-
1		開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20			-
<b>2 温熱環境</b>				<b>1.7</b>	0.35	<b>2.1</b>	1.00			<b>1.8</b>
2.1 室温制御				<b>2.5</b>	0.50	<b>2.1</b>	0.50			-
1		室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	3.0	0.57	-
2		外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	1.0	0.25	1.0	0.43	-
3		ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御				快適・働きやすさ	⑨温熱環境	<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	-
2.3 空調方式				快適・働きやすさ	⑨温熱環境	<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	-
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	<b>2.7</b>	1.00			<b>2.7</b>
3.1 昼光利用				<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30			-
1		昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	5.0	0.60	5.0	0.60	-
2		方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	-	-	-
3		昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策				<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30			-
1		昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	1.0	1.00	-
3.3 照度				快適・働きやすさ	⑩光環境	<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	-
3.4 照明制御				快適・働きやすさ	⑩光環境	<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.1</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.2</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			-
1		化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気環境	4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.38			-
1		換気量		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
2		自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	5.0	0.33	-
3		取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気環境	3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理				<b>1.0</b>	0.20	-	-	-	-	-
1		CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ	⑪空気環境	-	-	-	-	-
2		喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気環境	1.0	1.00	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-			<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>2.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00			<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			-
1		広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	5.0	1.00	-
2		高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3		バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40			-
1		広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	4.0	0.50	-
2		リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-	-
3		内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	-
1		維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2		維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-			<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-			-
1		耐震性		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2		免震・制振性能		防災	⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.2</b>	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-	-
6		主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2		給排水・衛生設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
3		電気設備		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4		機械・配管支持方法		防災	⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5		通信・情報設備		防災	⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>2.7</b>	0.30	<b>2.6</b>	1.00			<b>2.7</b>
3.1 空間のゆとり				<b>2.2</b>	0.30	<b>2.2</b>	0.50			-
1		階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60			-
2		空間の形状・自由度		4.0	0.40	4.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50			-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-
6		バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 泉区障害者支援施設(仮称)新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-
	集合住宅の評価			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				-	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.11	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-
1	消火剤			-	-	-	-	-
2	発泡剤(断熱材等)			4.0	0.50	-	-	-
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮				4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2	污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3	交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1	騒音			3.0	1.00	-	-	-
2	振動			-	-	-	-	-
3	悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-

上記以外の重点項目							
<事務用途>				-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-
<住宅用途>				-	-	-	-
健康と安心				-	-	-	-
1	化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
2	適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
3	結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-
4	犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-